２・３面　特集記事

飛び出せ、はまっ子！
～たくさんの出逢いから世界へ～

コラム　　ここに母校あり
「横浜市立本郷特別支援学校」

PTAよこはま

第157号

発行日／平成28年2月1日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会内 TEL662-7080 FAX662-6084　編集／平成27年度 常置広報委員会

第７回 市Ｐ連 三行詩コンクール

テーマ
「我が家のルール」
「家族のきずな」
「命の大切さ」
「食べる」

✻心あたたまる作品の数々✻

今回のテーマは、『我が家のルール』『家族のきずな』『命の大切さ』『食べる』です。募集期間は平成27年7月3日から9月4日。８６６点（小学生７２８・中学生74・一般64）の作品が寄せられました。９月10日から10月7日に横浜市ＰＴＡ役員及び常置委員・横浜市教育委員会指導主事など延べ１０３名が選考し、会長賞15点、奨励賞16点、佳作61点が選出されました。どの作品も、家族や家庭の様子が目にうかぶ心あたたまるものばかりでした。

会長賞を受賞した15点の作品を紹介します。これらの作品は、文部科学省と日本ＰＴＡ共催の三行詩コンクールに推薦されます。

✻表彰式の様子✻

平成27年12月12日、横浜市技能文化会館で、第７回市Ｐ連三行詩コンクール表彰式が行われました。

ステージ上には市Ｐ連旗が掲げられ、「表彰式」の看板が厳粛な雰囲気を作り出しています。会長賞を受賞された方と、そのご家族が続々と集まり、式は始まりました。

賞状が一人ひとりに授与されると、大きな拍手が会場に響きます。受賞者のみなさんの表情は、緊張の中にも誇らしさや喜びなどが伝わってくる晴れやかなものでした。

引き続き開催された懇談会では、それぞれの作品を自ら読み上げて、作品となるまでのきっかけや経緯、思いなどを、時おり再現も交えながら披露していただきました。

一つひとつのエピソードに会場は、いつのまにか温かな雰囲気で満ちていました。

今回、親子でのＷ受賞や、２年前にも受賞された方、かつてご兄弟が受賞されたことのある方など、三行詩コンクールが世代や時を超えて繋がっていると改めて感じました。来年度以降も多くの作品、笑顔に出会えることを楽しみにしています。

「家族のきずな」

なごやかな懇談会

☆会長賞《児童生徒の部》

ママのひざ
ぼくのこころの
じゅうでんき
ウルトラマサトメ
（原小学校２年）

かぞくでギューッ
きょうもげんきの　おまじない
東　澄空さん（川和東小学校１年）

家族にしか言えない
家族だから言えない
どっちも家族が大すきだから
小林　ひかりさん
（川上小学校３年）

三兄弟
すてきなデザート三とう分。
にがてなおかずも三とう分。
いつもなかよく三とう分。
田中　舞衣さん
（東中田小学校３年）

はかまいり
ごせんぞ様にありがとう
つながるつなげる
いのちのバトン
東　心愛さん
（川和東小学校３年）

いつから言えなくなったんだろう。
目を見て素直に「ありがとう。」
やっぱりなんだか照れくさい。
山内　里映さん
（茅ケ崎中学校３年）

ホリデーは
家族そろって　食べるデー
みんな笑顔で　嬉しいデー
竹内　一静さん
（谷本小学校３年）

お弁当
蓋を開ければ母の味
だし巻き卵は
我が家が一番
佐藤　優花さん
（鶴ケ峯中学校３年）

妹が生まれ僕への愛情
が半減すると思った。
嫉妬して意地悪して
ゴメン。
愛情は減るんじゃなく
て増えるんだね。
田部　達磨さん
（稲荷台小学校５年）

僕が寝る時、お母さんは
起きている。
僕が起きる時、お母さん
は起きている。
お母さん、寝てないでしょ。
内田　一晟さん
（富岡小学校６年）

《一般の部》

退院して心から味わう　家族に
食事をつくる　幸せを
藤田　真弓さん（中山小学校　保護者）

添い寝からハグに変わり　今はハイタッチ
寝る前に我が子を感じる　大切な「おやすみ」の挨拶
矢野　理映子さん（中和田小学校　保護者）

“大丈夫”　孫の声かけ
嬉しくて
今日も明日も
頑張るバァバ
貴帆バァバ
（鶴ケ峯中学校　保護者）

兄貴反抗期
でも叱られる妹につい助け舟
あぁ、きみの優しさは
健在だね
いくみん　（川上小学校　保護者）

「悩みがあれば何でも話して」
小４息子の言葉にホロリ。
聞き上手な包容力。
きっと将来モテるわよ。
田中　美樹さん
（中尾小学校　保護者）

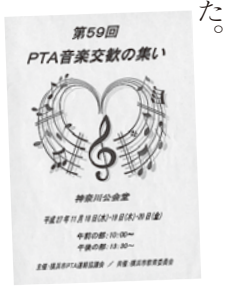
第59回ＰＴＡ音楽交歓のつどい

平成27年11月18～20日

横浜市ＰＴＡ連絡協議会森川会長の開会のあいさつ、来賓の横浜市教育委員会学校支援・地域連携課髙橋課長のあいさつに続き、『横浜市歌』の全体合唱から「第59回音楽交歓のつどい」が始まりました。この事業は、市内の小中高校のＰＴＡコーラスと特別支援学校ＰＴＡのグループが年に一度音楽を通して交流できる貴重な場となっています。

参加団体の人数や年齢はさまざまで、ポップス・オペラ・唱歌などバラエティ豊かな曲目と、衣装や小道具、振り付けなどで、それぞれの個性をより素敵に印象付けていました。ホールの歌声がロビーにまで響き渡る素晴らしい合唱で、中にはプロの演奏家、ボイストレーナー、オペラ歌手の指導を受ける団体もありました。歌い終わったコーラスメンバーの方たちの表情がみな明るく楽しそうでした。ＰＴＡコーラスのみなさんは、心地よい緊張を乗り越えて得られる達成感を楽しんでいる様子でした。

来年第60回を迎えるにあたり、また笑顔でつどうことを誓い、閉会となりました。



会場運営は市Ｐ連の事業研修委員が担当し、静かな環境を保てるようにサポートしました

オーダーメイド衣装に身を包み…

会場の声

コーラスを続けていると喉が鍛えられます。普段話すときも歌うように話すことを心がけると素敵な声になりますよ。

支援学級のリハビリで使っているトーンチャイムを子どもたちの卒業のプレゼントに演奏したのが始まり。今日は楽しくできました。

ＯＢと新メンバーとで以前は難しくて歌えなかった大切な曲を今日は歌えました。

少人数でもきれいな歌声が大きく響いていました

第37回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール

●文部科学大臣賞受賞
生麦中学校　教育振興会

広報紙作りの秘訣を広報委員長に伺いました。

① 受賞の感想をお願いします。

「青天の霹靂です。」

② 斬新な発想はどのようにして出てきますか？

「保護者や先生、生徒との会話や感じたことをとにかくメモするように努めました。そして行き着いたのが、誰もがオンリーワンだということ。その個性を紙面に反映させようと決めたら、自然と紙面が活き活きしたものになってくれました。２年連続で広報に携わってくれた保護者が諸作業で牽引し、生徒とのコラボでスパイスを効かせ、先生とのコミュニケーションの密度の濃さも完成度があがった要因だと思います。」

③ 発行予算を教えてください。

「年間予算30万円。年４回、各１０００部発行です。」

第33回　横浜市PTA連絡協議会
山下公園ファミリー写生大会
平成28年4月24日(日) 9:30～14:00
雨天予備日4/29(祝日)
時間内にご自由においでください
詳しくはちらし、HPにて
協賛
ぺんてる株式会社

H27 JYOUCHI KOUHOU Ikuta / Higuchi / Aihara / Abe / Nagashima / M.Yamamoto / Okamura / Uchida / Takei / Narita / Sawayanagi / Nakatsuka / Kaneko / Ikei / Kikuchi / Hagimori / Tsunashima / H.Kondo / Tsuchiya

ここに母校あり ～未来へはばたけ～

横浜市立
本郷特別支援学校
Hongo Special Needs Education School

－ＰＴＡと地域との関わりについて－

本郷特別支援学校は、栄区にある、主に知的障がい児を対象とした特別支援学校です。小学部、中学部、高等部、計182名の児童生徒が、主に栄区、戸塚区、泉区から通学しています。

本校の児童生徒は、開校当時からの地域のみなさまのご理解とご協力を得て、温かい見守りの中で、毎日元気に活動しています。本校ＰＴＡでは、地域のみなさまへの感謝の気持ちから始めた大切なＰＴＡ活動として、学校周辺の草取り清掃を行っています。年2回、ＰＴＡの委員が中心となって参加する保護者を募り、毎回40～50名の保護者が参加して行っています。

11月末には、ほんごう祭という学校祭が３日間開催されます。ほんごう祭では、児童生徒のステージ発表、作品展示、教室発表、作品販売等が行われ、地域の方々にも広く児童生徒の学習や生活の様子などに身近に触れていただく機会となっています。ほんごう祭最終日の土曜日には、ＰＴＡコーナー（バザー、喫茶、ゲーム）も設けられます。ＰＴＡコーナーは、保護者の有志がほんごう祭係として担当し、運営しています。準備や当日の開催に際しては、係以外にも手伝いの保護者を募り、多数の保護者が参加するＰＴＡ行事となっています。

その中のバザーコーナーは、農園芸班の生徒が作った大根等の販売コーナーと共に、地域の方々から好評を博しております。当日は開店前からコーナーの前で地域の方々が開店を待っていらしたり、ほんごう祭の日程の問い合わせのお電話をいただいたりするほどです。

これからも、地域との関わりを大切にして、ＰＴＡ活動を行っていきたいと考えております。

（本郷特別支援学校運営サポート委員会）

♥日々の活動

～スポーツで育むグローバル力～
緑園東小学校

✽横浜市では2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、大会の機運を高め、子どもたちに夢を与えるため、昨年度より市立小学校に対しオリンピック・パラリンピック出場経験者（オリンピアン）による出前授業を行っています。

平成27年11月、緑園東小学校にて、元Ｊリーガーでアトランタ五輪に出場された遠藤彰弘さんによる出前授業が行われました。「夢をつかむには目標に向かい日々努力する積み重ねが大切」とオリンピックでの経験談や、ステージ上からロングパスをするパフォーマンスを交えながらの遠藤さんの楽しくわかりやすいお話に、全校児童は盛り上がり聞き入っていました。体育館で行われた講演に続き、５・６年生は校庭で実際にサッカーボールを使い体を動かす授業も受けました。６年生の児童は「オリンピック選手に会ったのは初めてで緊張したけれど、話を聞けてとてもよかった」「自分もオリンピックに出たい」と目を輝かせ夢への期待を膨らませていました。

全校児童に講演

５・６年生へ実技

✽オリンピアンに直接触れ合える機会はとても有意義な体験です。世界共通のスポーツを通じて、子どもたちに夢をもつ大切さを伝え、世界へ羽ばたく希望を与えます。またスポーツに必要な目標に向かって自分で考える力、あきらめずに継続する力、チームで協力する協調性、体調管理に必要な自制心、ピンチをチャンスに変えるメンタル力などを学ぶことはスポーツだけではなく、さまざまな分野や場面において対応できる柔軟な適応力や高いコミュニケーション能力を養うことにつながります。子どもたちは本物と触れ合うことにより憧れをいだきます。自分もああなりたいという憧れが、なにごとにも積極的に挑戦し、やがて世界にも視野を広げ、関心を向けるきっかけとなることを期待しています。

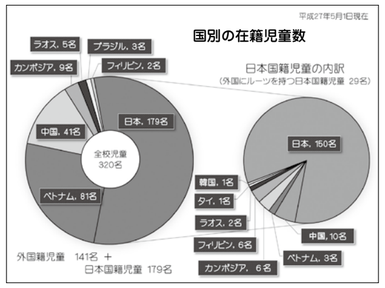
✽未来を担う「はまっ子」にはさまざまな国の文化を学び、吸収し、そして堂々と世界へ飛び出して日本を世界に発信できる、国際都市横浜にふさわしいグローバルな人になってもらいたい。オリンピアンの出前授業がその一歩となることを願います。

～毎日が異文化交流～
飯田北いちょう小学校

「世界のあいさつ」が迎えてくれました

泉区にある飯田北いちょう小学校は、飯田北小学校といちょう小学校が統合して２年目の新しい学校で、外国籍または外国にルーツをもつ児童が多く在籍している横浜市でも珍しい小学校のひとつです（円グラフ参照）。“言葉の壁”を心配して取材に伺いましたが、子どもたちは学年や国籍に関係なくとても仲良く過ごしていました。

異文化を有しながら日本で生活している子どもたち。どのような学校生活を送っているのか、田中校長先生とＰＴＡのみなさんに伺いました。



◆学校の取組

国語と算数の授業は、言葉の力に応じて**学生ボランティア**にも関わってもらい、徹底した**少人数指導体制**をとっています。日本に来たばかりの子どもには、国語の時間に初期日本語指導を行っています。それ以外の授業は、日本語と母語を話せる子どもが通訳する光景が見られます。

一方、子どもたちが日本語に触れる機会が増えるにつれ、母語を忘れてしまう傾向があるそうです。そのため、親子のコミュニケーションが難しくなることもあり、対策として、子どもに対する**母語教育（ベトナム語）**を行っています。**学校からのお便り**は、漢字にルビ（ひらがな）を振り、子どもが保護者に説明しやすいように工夫されています。また、個人面談では、必要に応じて通訳が同席することもあります。

ＰＴＡの活動

統合して２年目、新しく立ち上げられたＰＴＡは発展途上中。今年度から、本部・学年学級委員・校外委員の他に保健委員も活動を始めました。外国籍の保護者にとってＰＴＡそのものを理解することが難しい状況の中、「誰でも参加しやすい活動」となるよう努力されています。今年度は、ＰＴＡ総会の案内を日本語の他に中国語・ベトナム語でも作成しました。

今後、子どもたちと同じように国籍に関係なくお茶を飲みながらの親睦会を開催したい…と未来を語ってくださいました。

校長先生（右）とPTA役員

校長先生のお話より

多国籍の児童が在籍することでさまざまな文化や言葉を知ることができ、普段の学校生活の中で異文化への興味や関心をもちますが、偏見をもつことはありません。一緒に生活していくうえで、最低限のルールをもつ必要性にも気づきます。

今後、いろいろな国の人と一緒に働く機会が増えるであろう将来。この飯田北いちょう小学校での経験は、必ずプラスに作用するでしょう。

飛び出せ、はまっ子！
～たくさんの出逢いから世界へ～

Jambo Guten tag สวัสดีค่ะ Buongiorno Здравейте

～本は世界を開く鍵 英語多読のすすめ～
篠原中学校

坂を上りきった小高い丘の上にある、篠原中学校では、昨年から学校司書河村咲子先生を中心に行われている「めざせ100万語『英語多読』のすすめ」に取り組んでいます。

生徒が気持ちよく楽しみながらたくさんの英語に親しむことを目的に授業の中で活用しています。

●母語と同じような感覚で読む

英語多読とは洋書の絵本を３つのルールに従ってどんどん読んでいくことです。この読み方は私たちが日本語で読書をするときと同じです。洋書の簡単な絵本を180冊揃え、表紙に読みやすさレベル、本の語数を表示して図書室で手に取りやすいよう工夫しました。読み終えたら記録用紙に本のタイトル、語数、感想等を記入し累計総語数が自分で確認できるようにして読めた達成感を感じてもらいます。英語の絵本は言葉の世界に興味をもつだけでなく、挿絵を楽しみながら外国の文化や習慣を学ぶことができます。

～３つのルール～
① 辞書を使わない
② わからない単語は飛ばして読む
③ 選んだ本が自分に合わないときは途中でやめて良い

●豊かな国語力

読書が培う力は、生きていく中で大事な力となり豊かな感性や情操が育まれ知識も豊富になります。世の中に対して、思考力や好奇心が生まれることによって知識の引き出しが増え将来活用する時がきます。そのために多くの本を読み楽しんでほしいと思います。

●取材を終えて…

国際化が進む社会では語学の習得は不可欠です。テレビやインターネットから送られてくる情報に臆することなく世界に羽ばたいていける柔軟な思考力・判断力が次世代を生きる子どもたちに求められています。その糸口となる読書は国際色豊かな異文化の世界を感じとることで視野がひろがり、世界へ飛び出す力が育てられるのだと感じました。

Jambo Guten tag สวัสดีค่ะ Buongiorno Здравейте 안녕하세요 HELLO 你好 こんにちは Jambo Guten tag สวัสดีค่ะ Buongiorno Здравейте

～世界で通用するコミュニケーション能力を育む教育～
みなと総合高等学校

港の近く、横浜中華街に立つ横浜市立みなと総合高等学校の、国際性を高めるキャリア教育について宮崎校長先生にお話を伺いました。

この学校では、グローバル教育を推進させるため姉妹都市関係等を活用し留学生を積極的に受け入れています。留学生は通常の授業に参加することで日本の高校の普段の姿を見ることができ、在校生は交流を通じて多様な価値観に触れています。「将来、自分の隣にどこの国の人がいても普通に会話ができ、同じ時を共有できるようになってほしい」と語る校長先生の目指す人材育成は、多様性を重んじつつ自己表現力を高めることです。生徒たちはこのような環境で自らの興味を意欲的に深め、国際感覚を身につけ、楽しみながらたくさんの経験を積んでいます。

英語の授業を頻繁に英語を教えました。
短期留学生　校長先生

私は日本に来る前に7年間日本語を勉強していました。将来は弁護士になりたいです。
長期留学生

☆みなと総合独自のバディ制度を実施（ボランティア）

国際交流に興味のある生徒がバディとして留学生の日常生活の世話役や国際的行事へ参加などもしています。

～バディ登録している生徒たちの声～

「きっかけはグローバルな経験を積みたかったから。いろんな文化や言葉に触れてみたい」

「留学生に日本のことを伝えるには自分たちも理解が必要。ちゃんと日本の文化と向き合っていきたい」

取材を終えて…

生徒たちは将来のやりたいことや夢が明確で、それに向けて頑張っている姿が印象的でした。国際都市横浜らしい取組だと感じました。この先10年20年後には横浜の子どもたちが国際的に活躍する機会も増えていくことでしょう。

米国国務省日本語研修所の発表会

中区役所地域振興課の紹介で米国国務省日本語研修所の外交官とのつどいが開かれました。

生徒たちは、国際的に活躍している外交官ならではの経験談に興味津々な様子で、目を輝かせて聞き入っていました。世界で生きる素晴らしさを感じ、自分がこのような世界の架け橋になる将来に思いを馳せているようでした。

携帯メールマガジン **「はまのタスケ・メール」** では、
最近の契約トラブル等の事例を紹介！
悪質商法の手口を知り、**キッパリ**断りましょう！
登録は簡単！
yokohama@star7.jp
まで空メールを送信。
送られてきたメールのリンク先URLにアクセス。
「登録」を押せばOK！
今なら格安！　いりません！　NO!
横浜市消費生活総合センター　はまのタスケ
消費トラブルのご相談は 045-845-6666
受付　平日 9：00～18：00　土日 9：00～16：45
デザイン協力／岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校 グラフィック科

買い物も勉強もアソビも全部揃ってるトレッサ横浜
トレッサ横浜
営業時間10:00～21:00
※一部営業時間が異なる店舗がございます。
水曜５時はおトクがいっぱい！
水 水曜 5時の市 5
環状2号線沿い師岡町交差点そば
土・日は、さらに450台
駐車場2,700台 全日無料
トレッサ横浜　検索

“夏休み親と子の工作教室”でおなじみの
神奈川土建です
住宅リフォームのご相談は
横浜市内の建設業者へ
かながわ職人NAVI　検索
http://www.shokuninnavi.com/
神奈川土建・横浜市協議会　tel 045-453-9806

キリトリ
入園料割引券
有効期限 平成28年4月10日（日）まで
春は よこはまの動物園へ行こう！
http://www2.hama-zoo.org/
こちらの広告切り抜きを入園口受付提出で以下のいずれか１つご利用いただけます。（入園割引は本券１枚につき４名様まで）
・ズーラシア入園料 100円引
・野毛山動物園にてポストカード（本券１枚につき１枚）プレゼント
・金沢動物園入園料 100円引
ご利用日　平成28年　月　日
ご来園人数　大人　名　高校生　名　小・中学生　名　未就学児　名
※事前に上記枠内をご記入ください。
※コピー及び団体でのご利用、他サービス券との併用はできません。
※駐車場は有料（ズーラシア１回1000円、金沢１回600円）です。
よこはま動物園ズーラシア　野毛山動物園　金沢動物園
指定管理者 横浜市緑の協会 Yokohama Greenery Foundation

第47回関東ブロック ＰＴＡ研究大会 横浜大会

平成27年度　横浜市ＰＴＡ連絡協議会研修会　10月24日（土）・25日（日）

平成27年10月24日・25日、秋晴れの中、第47回関東ブロックＰＴＡ研究大会横浜大会が開催されました。

１日目は分科会が、関内・桜木町周辺の６会場で行われました。

２日目の全体会は、パシフィコ横浜国立大ホールで関東ブロック15協議会約２０００人を集めて、森川大会長の「ようこそ横浜へ！」という軽快な歓迎の言葉で開会しました。

今大会は約２年前に実行委員会を立ち上げ準備を重ねてきました。運営委員や揃いの赤いＴシャツを着用した当日のスタッフを含めると約５００人の横浜市のＰＴＡの仲間が、一様におもてなしの心で参加者をお迎えしました。

記念講演では、タレントの菊池桃子氏を講師にお招きし、「いつも前を向いて自分さがし～キャリア形成論で親が目覚めること～」のテーマで、和やかな雰囲気の中、貴重なお話を伺いました。

【おとなも育とう、こどもと共に】の市Ｐ連スローガンのもとに学んだ本大会の研究成果として、《大人自身が学び、成長するためのＰＴＡ活動の推進》《大人の「信頼関係」「規範意識」「ネットワーク」の構築》《他者との違いを尊重し、相手を思いやることができる関係の育成》《時代の変化、要請に応えたＰＴＡ運営を目指す》の４つの大会宣言を決議し、その実現に努めることを誓いました。

次年度は10月21日・22日に茨城県で開催されます。

大会長あいさつ

大会長
森川　智之

このたび、「子どもの生きる力【知・徳・体・公・開】想いをつなぐ教育文明開化～子どもたちと見すえる未来への船出～」を大会スローガンに、第47回関東ブロックＰＴＡ研究大会横浜大会を無事に開催できました。開催にご協力いただいたみなさまには心より感謝を申し上げます。

本大会の分科会の名前と大会スローガンは、横浜教育ビジョンにもある「３つの基本【知】【徳】【体】の調和がとれ、２つの横浜らしさ【公】【開】を身に付けた〝横浜の子ども〟」を参考にしております。本大会が横浜の学校が目指す教育の姿をＰＴＡのみなさまとも共有していただくきっかけになれば幸いです。そして、横浜らしさの【公】【開】は、昨今の全国的な教育の重点課題である「公共心を育むこと」や「グローバル人材の育成」とも重なります。今大会の成果を各学校・ＰＴＡに持ち帰って実践していただけることを期待しております。

また、全体会・分科会の運営やご案内などで、横浜のＰＴＡの多くのみなさまにご協力いただきました。他の県・政令市の方々に「さすが、横浜！」と言っていただけた大会となりましたのも、みなさまのご協力によるものです。ありがとうございました。

実行委員長あいさつ

実行委員長
栗原　秀泰

３年前から準備を進めてまいりました横浜大会は、大会運営に携わられたみなさま、また当日参加していただいたみなさま方のご協力により成功裏に幕を閉じることができました。

運営委員・スタッフのみなさまには長期間の準備にもかかわらず、最後まで笑顔で活動していただき、参加された各協議会から素晴らしかったとの声を多数いただきました。この大会で学びあったことを、各単Ｐで語り合い、今後のＰＴＡ活動に活かしていただければ幸いです。

開催にご協力いただいた横浜市Ｐ連会員のみなさまをはじめ、教育委員会、各諸団体のみなさまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもの生きる力「知・徳・体・公・開」想いをつなぐ教育文明開化　～子どもたちと見すえる未来への船出～

第1分科会 生きる力
豊かな体験が「生きる力」を育む！～体験活動で伸びる思考・判断・表現力～

「子どもの生きる力とは何か」を考え、東京海洋大学客員教授の上田勝彦氏の講演と２つの事例発表、パネルディスカッションを行いました。

第2分科会 知
「確かな学力」
自ら学び表現できる子どもを育てる～喋れなくとも英語は通じる!?～

２つの事例発表とミュージカル落語家の三遊亭究斗氏の講演を行いました。

第3分科会 徳
「豊かな心」
みんなちがってみんないい

３つの事例発表と日本理化学工業株式会社会長の大山泰弘氏の講演と道徳の授業体験などを行いました。

第4分科会 体
「健やかな体」
健やかな体を育てるための「心の持ち方」「気持ちのあり方」

２つの事例発表とメンタルトレーニングコーチである大儀見浩介氏が講演を行いました。

第5分科会 公
「公共心と社会参画意識」
地域における子どもたちの役割

「小さな命の意味を考える会」代表の佐藤敏郎氏による震災の体験を未来へとつなぐ講演、３つの事例発表、グループディスカッションを行いました。

第6分科会 開
「国際社会に寄与する開かれた心」
国際理解～地球市民として「ここ」からはばたこう～

１つの事例発表とアーサーホーランドミニストリー主宰のアーサー・ホーランド氏による講演、実際に小中学校で行われている出前授業を体験しました。

第63回日本ＰＴＡ全国研究大会（札幌）

平成27年８月21日・22日に、夏の暑さの中にも心地よい風が吹く北の大地北海道札幌で、日本ＰＴＡ全国研究大会が開催され、横浜市Ｐ連からは48名が参加しました。

１日目は札幌市内各地で10分科会で主に札幌・北海道にゆかりある方の講演や各ＰＴＡの実践発表などが行われ、それぞれに参加しました。

２日目は北海道立総合体育センターで全体会が開催され、「あなたは子どもたちの想像力を育てていますか」と題し、脚本家の倉本聰氏の記念講演が行われました。戦中・戦後に父親の言葉から人の気持ちを想像することや、ご自身の人生で受けた言葉や経験から、子どもがもつべき想像力の大切さを学び感じたことをお話しくださいました。

往復ともに慌ただしいスケジュールのためわずかな時間ではありましたが、参加者同士の交流も深まった大会でした。次回は平成28年８月20日・21日に徳島県で開催されます。

第71回指定都市ＰＴＡ情報交換会（神戸）

平成27年９月17日・18日、神戸市で第71回指定都市ＰＴＡ情報交換会が開催され、横浜市Ｐ連からは役員代表と事務局の６名が参加しました。「指定都市ＰＴＡ」ということで13の協議会が参加しており、日Ｐ全国大会や関東ブロック大会とはまた違った規模・視点での密な情報交換を行うことができました。

『おとなの「どうとく」一緒に考えよう。大人がすべきこと・していないこと』をテーマに、１日目は「組織・運営」「生涯学習活動」「地域連携」「広報活動」の４分科会に分かれて参加し、各協議会での日頃の取組や抱える課題などの情報・意見を交換しました。２日目の全体会では講師の鎌田實氏による「感性の豊かな子どもを育てる～命・勇気・自由・絆を考える～」という演題で講演を伺いました。講演会は神戸市Ｐ連の一般会員も参加できる形式のため、日頃からＰＴＡに携わるより多くの人々との時間を共有できました。次回は平成28年９月15日・16日に仙台市で開催されます。

平成27年度優良ＰＴＡほか受賞校（者）

文部科学大臣表彰　優良ＰＴＡ
東山田中学校ＰＴＡ　綱島東小学校ＰＴＡ
日野中央高等特別支援学校ＰＴＡ

神奈川県教育委員会表彰　優良ＰＴＡ
つづきの丘小学校ＰＴＡ　小山台小学校ＰＴＡ
釜利谷南小学校ＰＴＡとらいあんぐる
中川小学校ＰＴＡ　小田小学校ＰＴＡ　庄戸小学校ＰＴＡ
二つ橋高等特別支援学校

日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰
【団体表彰】鴨志田中学校ＰＴＡ　いぶき野小学校ＰＴＡ
矢上小学校　父母と先生の会
【個人表彰】生中 信行　小椋 歩　山下 久美子　丸山 智美

全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール
【文部科学大臣賞】生麦中学校　教育振興会
【日本教育新聞社社長賞】山田小学校ＰＴＡ